**ラウル・デュフィー作「電気の精」生誕87周年記念シンポジウム**

**プログラム**

**1937年、ラウル・デュフィーがパリ万博のフランス館に描いた、縦10メートル、横60メートルの絵「電気の精」では、電気の発見、研究から実用化につながる科学者を108名紹介している。毎年開催している「電気の精」シンポジウムを、本年は、千葉県立現代産業科学館をお借りして開催する。**

**日時　2024年8月24日（土）13：30～16：00**

**主催　電気学会電気技術史技術委員会**

**共催　メタエンジニアリング研究所**

**協力　千葉県立現代産業科学館**

**場所　千葉県立現代産業科学館　研修室　　　最寄り駅はJR東の総武線本八幡または下総中山**

**https://www.chiba-muse.or.jp/SCIENCE/**

**参加者　電気学会関係者、千葉県民、一般　約40名**

**参加費　シンポジウムは無料、科学館の一般展示をご覧になるには入館料（一般は300円）が必要です。**

**次　　第**

**１． 挨拶**

**電気学会電気技術史技術委員会　中川聡子委員長**

**２． 千葉県立現代産業科学館ご紹介**

**千葉県立現代産業科学館　鈴木淳一様**

**３． 電気の精の研究の最近の話題**

**千葉大学　田中國昭名誉教授**

**４． 電気の精のカレンダー発行　9年プロジェクト**

**村田機械株式会社　広報室　山田幹也・高嶌浩子様**

**５． 電気の精の最近の話題**

**鹿児島工業高等専門学校　中村格教授**

**６． 千葉県立現代産業科学館「電気の精」展示の紹介**

**電気技術史技術委員会　丸島敬様**

https://fee.mam.paris.fr/visite-virtuelle/?lang=ja

**参加希望者は以下にご連絡ください。定員になり次第締め切らせていただきます**

**メタエンジニアリング研究所　鈴木浩**

**hiroshi.suzuki@meta-engineering.com**